平成26年度予算見積調書

課室名: 温暖化対策課

担当名:総務・エコライフ推進担当

内線: 3038 (単位:千円)

日報 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日報	番号				会計	款	項			. אגאה ניץ	説明事業	(+ \(\frac{1}{2}\)	
計		が出まがましょう	•						+ \#	治原体社体性			
類	B18	低灰系型フイノ	ノスダイル推進事業貿			会 総務算	環		生進 地球	温暖化对束推连貿			
万字	事業	平成17年度~	根 拠 なし				戦略項目	09	「エネル	ギー埼玉モデルの構築	築		
埼玉県における家庭部門の201年のC 02排出量は200 7	期間		法令		分野施策 040202 低炭素な暮らしとまちづくりの推進								
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) (3)事業効果 ア エコライフDAYへの参加者拡大 イ 他の模範となる環境活動の表彰(過去の応募数585、受賞者数158) 3 地方財政措置の状況 普通交付税(包括算定経費) (区分)企画費 (細目)環境保全対策費 (細節)環境保全対策費 (細節)環境保全対策費 (補類内容)地域の実情に応じた環境保全対策 (積算内容)地域の実情に応じた環境保全対策 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 人件費 9,500千円×1人=9,500千円 (4)県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 市町村、境玉県地球温暖化防止活動推進員、企業、NPO等との連携によるエコライフDAYの実施 すっ企業、NPOとの共同による表彰の実施 エ 新たな広報ツールとしてのfacebookの活用(平成24年度~) 大件費 9,500千円×1人=9,500千円 財源内駅 ー般財源 前年との対比 大定額 7,162 7,068 94 2,515	1 事 埼玉! 5年に比 そこ 広く県 (1): (2):	県における家庭 にべ22.2%増と増 で、家庭におけ 民に向けた普及 エコライフDA 地球温暖化防止 さいたま環境賞	創加の一途を辿っている。 るCO2削減を進めるととも 啓発事業を実施する。 Yの推進 4,450= 活動推進員の活動促進 2,022= 表彰事業の実施 360= キャンペーンの実施	は200 (1)事業内容 アイ カララ温 いに、 ウェンス サー はいた ファイ ウェス ライ で ファイ で ファイ で ファイ で コー で で で で で で で で で で で で で で で で で	(1)事業内容 ア エコライフDAYの推進(6~9、12~3月) 4,450千円 イ 地球温暖化防止活動推進員の活動促進(通年) 2,022千円 ウ さいたま環境賞表彰事業の実施(9~3月) 360千円 エ ライフスタイルキャンペーンの実施(通年) 330千円 (2)事業計画 ア 地域における温暖化対策普及啓発活動の担い手育成 地球温暖化防止活動推進員を新たに委嘱(任期2年)するとともに、地球温暖化防止活動推進員の研修を充実させ、各地域におけるより効果的な活動を促進する。 イ 他団体との連携による普及啓発活動の実施								
市町村、県民、企業、NPO等との連携による事業を実施している。			区分	(3)事業効果 ア エコラィ イ 他の模範	- (3)事業効果 ア エコライフDAYへの参加者拡大 イ 他の模範となる環境活動の表彰(過去の応募数585、受賞者数158)								
予算額 繰入金 一般財源 前年との対比 決定額 7,162 7,068 94 2,513	普通交 ² (区分 (細節 (積算 4 事	付税(包括算定))企画費 (細)環境保全対策 内容)地域の実 業費に係る人件	経費) 目)環境保全対策費 費 情に応じた環境保全対策 費、組織の新設、改廃及び	市町村、県 ア 市町村、県 イ 埼玉県地 ウ 企業、N エ 新たなD	市町村、県民、企業、NPO等との連携による事業を実施している。 ア 市町村、埼玉県地球温暖化防止活動推進員、企業、NPO等との連携によるエコライフDAYの実施 イ 埼玉県地球温暖化防止活動推進員による地域での取組の支援 ウ 企業、NPOとの共同による表彰の実施 エ 新たな広報ツールとしてのfacebookの活用(平成24年度~)								
予算額 繰入金 一般的源 対比 決定額 7,162 7,068 94 2,513	当年し の												
		予算額	繰入金								一般財源		
前年額 4,649 4,537 112	決定額	頂	7,162 7,068								94	2,513	
	前年額	頂	4,649 4,537								112		